

“防災塾・だるま”の「防災スクール」見学レポート

横浜市神奈川消防署の荒巻署長さんのご厚意で、菅田中学校が総合学習として取り組んでいる「防災スクール」を見学することができ、地域防災に関する貴重な示唆を学ぶことができました。

◆日時:2012年8月27日(月)10時～11時30分

◆場所:横浜市立菅田中学校(校長:大場洋子先生)……神奈川区菅田町

◆受講者 菅田中学校全校生徒 約450名

◆だるま参加者(9名):池田、伊東、小原、菊地、佐々木、高松、田中(喜)、中島、山田(敬称略)



☆目的

大規模地震等の発生時に地域防災の大きな力になることが期待される中学生を対象に、地域防災拠点等に備えている資機材の取扱い等を指導し、防災に関する意識、知識、技術等を高めるとともに、将来の消防団員等の確保につなげる。

☆訓練内容

(1年生) 三角巾及びロープの取扱い

(2年生) 携行発電機及び投光器の取扱いと搬送法

(3年生) 心肺蘇生法とAEDの取扱い

※ 各学年の訓練内容を固定し3年間で全ての知識・技術を修得する。

☆指導者

※ 神奈川消防団本部及び9個分団の訓練指導者約60名

※ 神奈川消防署職員7名



発電機及び灯光器の取扱い



担架取扱いと傷病者搬送訓練



三角布の取扱い



心肺蘇生法と AED の取扱い

☆訓練についての経緯

- 1、平成 18 年から実施し今回が 7 回目になるが、当初 5 年間は訓練対象が 3 年生のみ。
- 2、「防災スクール」実施のきっかけは、地元消防団からの持ちかけ。
- 3、全校生徒対象の総合学習としての取り組みは、大場校長先生が着任後(2 回目)。
- 4、総ての訓練指導は、約 60 名の消防団員が行っている。

☆その他

- ・菅田中学校は地域防災拠点(災害時避難所)には指定されていない。
- ・防災訓練に先立ち、地震発生を想定した全校生徒の避難訓練が行われた。
- ・特別救助隊による救助訓練(火災現場からの救助・救出)。
- ・だるま会員・大西さんが消防団員として指導活動。
- ・当日の見学は、神奈川消防署・滝沢課長さんにご案内いただいた。



地震時の避難訓練



火災の救助・救出



防災訓練参加の全学生

以上

2012 年 8 月 29 日

記録: 中島光明